

# J-ARCHITECT

JAKUETS ARCHITECTURAL DESIGN MAGAZINE

ジェイアーキテクト

VOL.06

山手幼稚園〈岐阜県〉



JAKUETS



## 自然を取り込む中庭に、にぎわいが集まる園舎

学校法人 本郷学園 山手幼稚園 様

岐阜県美濃加茂市の学校法人様が40年以上にわたって運営してきた幼稚園の園舎は、老朽化に加えて、増築を重ねたことによる使い勝手の悪さが問題となっていた。装いも新たに建て替えられた新園舎は、建物内の動線を整理した上で、回遊性のある設計を採用。シンプルでゆとりのある間取りの中で、屋内への採光や採風にも配慮しながら、開放感のある空間づくりを実現した。園舎の中央を貫く中庭を核として、300人を超える園児たちがのびのびと活動できる環境を提供している。



学校法人 本郷学園 山手幼稚園 様	
所在地：岐阜県美濃加茂市	《園舎概要》
主要用途：幼稚園型認定こども園	構造：鉄骨造2階建
定員：362名	敷地面積 / 4763.89㎡
竣工：2019年8月	延床面積 / 2432.56㎡
	建築面積 / 1475.21㎡



## シンプルな間取りと動線に、 細部のこだわりを加える

全体を「口の字型」にして外側に部屋を配することで、中庭を取り囲む廊下に園舎内の動線を集約した。園児たちが遊ぶ中庭は屋外の光や風を取り入れる役割も果たし、2階のテラスやデンの存在が空間構成にアクセントを加えている。3才児以上のクラスの保育室（教室）をオーソドックスな長方形の間取りで統一しながら、異なるデザインを施した4つのトイレやプレイコーナーのBブロックウォールなど、細部にユニークな仕掛けを盛り込んで、使いやすさと遊び心を兼ね備えた園舎を追求した。

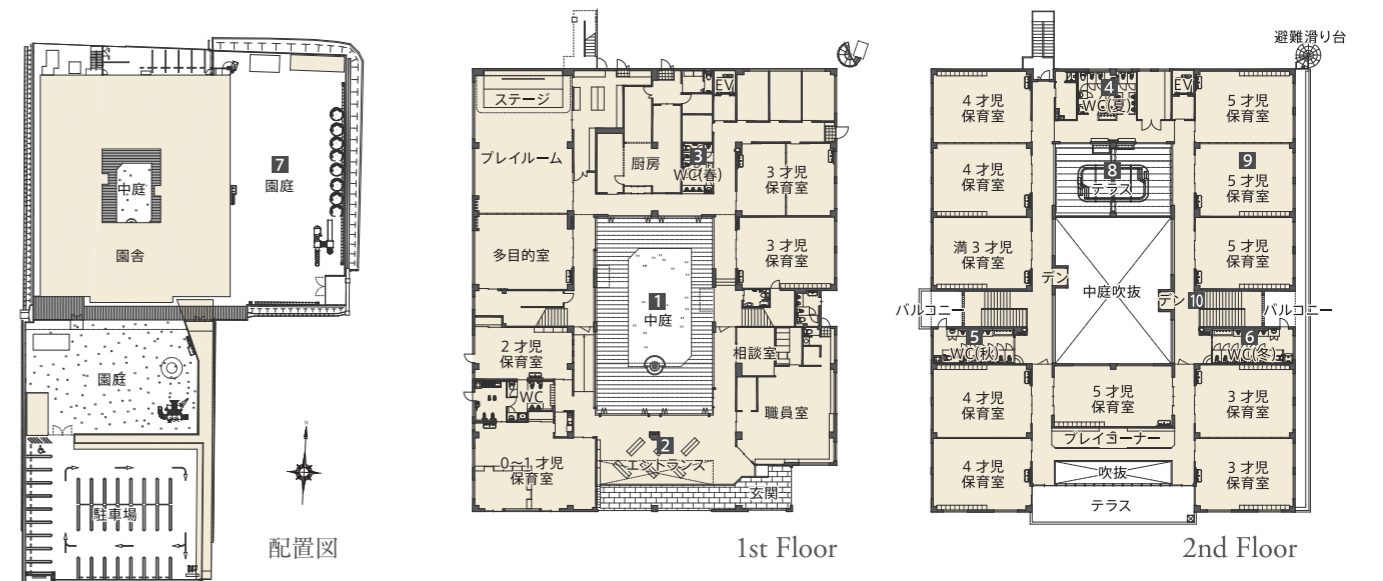


Bブロックウォールで遊ぶ園児たち。



2階の吹抜のそばに絵本や教材を揃えたプレイコーナーを整備。廊下との仕切り壁部分に、ジャクエツの「Bブロックベース」を取りつけた「Bブロックウォール」を導入するなど、子どもたちが想像力を発揮できるあそび場を目指した。

1 中庭／四方の廊下から出入りできるように、周縁部にウッドデッキ、中央部に人工芝を敷いた中庭。北（厨房側）と南（エントランス側）には大開口のガラス戸を設けて、園舎内に光を取り込み、風が通り抜ける構造となっている。2 エントランス／正面に向けて幅を広く取った玄関は、2つの園庭と中庭のほか、吹抜によって2階ともつながり、空間の広がりを生み出している。園児の下足棚は廊下からスムーズに移動できるように、斜め向きの並びに配置した。3 4 5 6 トイレ／1階と2階にある計4カ所の園児用トイレは、それぞれ春夏秋冬のイメージでデザイン。配色や個室扉のマークで四季を表現した。7 園庭／園舎の東側に設けた土のグラウンドでは、運動やあそびによって園児たちの体力を育む。8 テラス／中庭を見下ろす位置に設けられたウッドデッキのテラス。屋根となるテントは開閉可能で、夏にはプールが設置される。9 保育室／クラスの人数に対して、十分ゆとりのある面積を確保。隣室との間仕切壁を折り畳めば、さらに広く使うことができる。10 デン／2階の東西の廊下から中庭に向かってせり出す小部屋。中庭や向かいのデンにいる友達に手を振る園児たちの姿が見られる。



## 作り手への信頼が自由な創造性を生む——

### 「要望通り、想像以上」の設計に、 教育環境の充実を確信

1977年に開園した山手幼稚園は教育環境の充実に向けて、園地の拡張と園舎の増築を重ねてきた。しかし、創立30年を超えた頃には、2階建てと1階建ての2つの園舎が並び、園庭も2つに分かれて、園舎間の移動や各部屋への荷物の運搬、道路をはさんだ駐車場からの出入りなどに数々の不都合が生じていた。建物自体の老朽化もあって、園舎の建て替えを検討することになった際、園が真っ先に相談したのがジャクエツだった。

「開園以来のお付き合いで、商品の質の高さや対応の早さ、アフターフォローの丁寧さに対する信頼があり

ました。園舎の改築に伴う行政への手続きなどにも詳しく、新しい園舎をお願いできるのはジャクエツしかないと考えていました（渡辺理事長）」

新園舎づくりは2015年末にスタートし、約2年に及ぶ検討を経て、2018年初頭に基本設計が固まった。2つの園舎を統合し、複雑だった動線を改善するとともに、「子どもたちが元気に走り回れる園舎にしたい」との園の要望から、間取りを長方形の建設地一杯に広げて、屋内の広さを最大限に確保し、廊下と階段で内部を回遊できる構造とした。

「私たちの漠然とした要望に対する提案が、いつもこちらの想像を上回ってくるので、打ち合わせで設計案をうかがうのが毎回楽しみでした。中庭に張り出したデンや四季をモチーフにしたトイレなどは、園児の好



園舎の正面には芝生を張った園庭と駐車場を整備し、園児や保護者が登下園しやすい環境に。

奇心をくすぐる工夫として感心しました（渡辺理事長）」

2019年度からの認定こども園への移行に合わせて、新園舎は2018年7月に着工。翌年3月に園舎部分が完成し、8月には隣接する園庭や駐車場を含めた外構部分が竣工した。完成後の園舎では、園児たちが中庭や周囲の廊下を行き来しながら、広々とした園舎全体をあそび場としている。先生にとっても、機能的に配置された各部屋は利便性が格段に高まり、日々の教育の充実につながっている。

「シンプルな設計になったことで、園児や職員が自由に生き生き活動できる環境が実現したように思います。素晴らしい園舎にふさわしく、素晴らしい教育を提供する園となり、素晴らしい人間を送り出したいと考えています（渡辺理事長）」

### PROFILE

学校法人 本郷学園  
理事長・園長 渡辺 勇人 様

1953年生まれ。愛知学院大学歯学部卒。2007年に山手幼稚園の園長に就任し、2013年からは理事長も兼務。歯科医院の院長も務める。



コ設  
メ計  
ン士  
ト



名古屋設計事務所  
三田 直樹

旧園舎では複雑に錯綜していた動線を整理して、先生方が仕事をしやすい空間と子どもたちが楽しめる空間の両立を目指しました。中庭を園舎全体の核として、間取り自体は分かりやすく設計しながら、建物の各所で見た目にも面白いデザインや子どものあそびを広げるアイデアに挑戦しています。設計段階で園と濃密な意見交換を図れただけでなく、工事に入ってから施工者とも円滑なコミュニケーションをとることができました。その結果として、設計者の私が想像した以上に、明るく風通しのいい園舎を形にさせていただくことに感謝しています。園の皆さんがこの園舎をどのように活用していただけるのか、今後とも興味深く見守らせていただきたいと思います。

コ施  
メ工  
ン者  
ト



館林建設株式会社  
工事部 係長  
間宮 篤史

山手幼稚園様の新園舎は、施工が極めてスムーズに進んだ現場でした。建築主の園と設計者のジャクエツ、施工者の当社が、週1回の定例会議で工事の現状を事細かに共有し、「子どもたちのために良い園舎をつくろう」と同じ目標に向かって取り組むことができたからです。園からは信頼して任せていただき、ジャクエツはこちからの疑問や質問にすぐにこたえてくれました。子どもにやさしいジャクエツの園舎設計には学ぶ部分が多く、これから園舎の施工を手掛ける際の参考にさせていただきたいですね。



# 設計事務所 ARCHITECTURE OFFICE

## 子どもたちが主役の「宮殿づくり」

ジャクエツの園舎設計のコンセプトは“子どもたちの宮殿づくり”。  
 これまでに、幼稚園・保育園専門の設計事務所として、  
 500園以上の園舎を設計させていただきました。  
 プランニングからアフターフォローまで、  
 子どもたちの成長を第一に、それを支える職員の皆さまを  
 施設設備の面からサポートいたします。

**株式会社ジャクエツ**  
 一級建築士事務所



### 東京設計事務所

東京都知事登録 第44805号

〒108-0074 東京都港区高輪4-22-4  
 TEL 03-5789-1100

### 名古屋設計事務所

愛知県知事登録(い-27) 第13105号

〒460-0012 名古屋市中区千代田5-11-32  
 TEL 052-265-2730

### 宇都宮設計事務所

〒320-0847 宇都宮市滝谷町20-17  
 TEL 028-614-5070

### 大阪設計事務所

大阪府知事登録(イ) 第24853号

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島3-11-3  
 TEL 06-6471-3939

### 横浜設計事務所

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-22-1  
 TEL 045-488-6253

### 広島設計事務所

広島県知事登録17(1) 第5246号

〒730-0843 広島市中区舟入本町6-21  
 TEL 082-531-0770

### 福岡設計事務所

〒812-0896 福岡市博多区東光寺町2-8-31  
 TEL 092-451-0117